

産地直送便



発行（農）山形おきたま
産直センター
山形県南陽市漆山 1068
TEL 0238 (47) 7338
<http://www.okitama.net>
2014. 2. 1 発行
責任者 星 隆之

～有機栽培者反省会～

有機米部会部長 目黒祥一

こんにちは、有機米部会の目黒です。
今回は有機米部会の活動を簡単にご紹介したいと思います。

お米の有機栽培（無農薬）でとにかく難しいのは
「除草剤を使わずにどうやって雑草を抑えるか？」
ということです。ほとんど“永遠の課題”といっ
てもいいような難題ですが、私たち有機米部会では
学習会や田んぼ巡回を活発に開くなどして除草・抑草技術を高めています。
仲間の田んぼを見て、管理方法を聞いて、それらについて議論をして。そんなこ
との積み重ねから、最近はなんとか雑草に負けない程度のノウハウが蓄積されて
きました。有機米部会には就農間もない若手から超ベテランまで多様なメンバ
ーが集っていますが、ベテランの経験と若手のパワーを融合して「環境にも生きも
のにも人にも優しい、私たちなりの有機栽培技術」を確立していきたいものだと
思っています。



農薬を使わない田んぼにはたくさんの生きものたちが棲んでいます。「田んぼの生
きもの調査」などもおこなっていますので、機会がありましたらぜひ山形まで遊
びにきてくださーい！



***** 雪 下ろし *****

青年部 小口孝之

果樹農家の1月～2月の仕事に、木の雪下ろしがあります。
 木には実をならせるための枝が、いくつも伸びています。その枝に降った雪がたまり、
 たまり続けると大きな雪のかたまりになり、その重さに耐えられなくなると、実をつけ
 るはずの枝が折れてしまいます。
 美味しい実がなり、お客様に食べていただくために、
 時には防寒着を脱ぎ背中から湯気を出しながら頑張っ
 ています。



----- 青年部交流 -----

こんにちは。交流委員会副委員長の倉田健三です。
 交流委員会を代表して12月15日に山形おきたま産直センターの取引団体(東京土建さん)の青年部
 主催のクリスマスパーティーにお呼ばれして参加してきました。
 青年部の方々とお話しするのは初めてでしたが、彼らの繋がる気持ちや盛り上げていこうとする姿勢
 をひしひしと感ずることが出来ました。
 環境は違えど抱えている問題や悩みなども一緒なんだと感じました。
 この出会いを機に今までの繋がりをより深く強固なものにし、次の
 ステップへと進めていきたいと思いました。



産直米変更連絡用紙 山形おきたま産直センター行き→FAX 0238-47-7318

お休みや重量変更などのご連絡は、お届け日の10日前まで受付。
 急な変更等是对応出来ない場合がございます。早めのご連絡をよろしくお願い致します。

お客様コード NO _____ FAX 送信日 _____ 月 _____ 日

氏名 _____ 様 _____ 氏 _____

- | | | | |
|--------------------------------|----|---|-----------|
| <input type="checkbox"/> お休み連絡 | 月 | 日 | お届け分のみお休み |
| | 月～ | 月 | までお休み |
| <input type="checkbox"/> 変更連絡 | 月 | 日 | お届け分の変更 |
| ～変更内容～ | | | |